

各 位

上場会社名 株式会社 小田原エンジニアリング
代表者 代表取締役社長 保科 雅彦
(コード番号 6149)
問合せ先責任者 管理部長 黒澤 克彦
(TEL 0465-83-1122)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年2月14日に公表いたしました連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2022年12月期通期連結業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 14,300	百万円 600	百万円 625	百万円 440	円 銭 77.61
今回修正予想(B)	14,086	967	1,118	801	141.22
増減額(B-A)	△214	367	493	361	
増減率(%)	△1.5	61.2	78.9	82.0	
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	13,555	1,059	1,259	925	157.98

修正の理由

売上高につきましては、送風機・住設関連事業は好調に推移したものの、巻線機事業において、当期に売上を予定していた一部の案件が翌期にずれ込んだことにより、前回発表予想を下回る見込みです。

利益面につきましては、巻線機事業において、製品の主たる構成部品である制御機器・電気部品等の長納期化の影響により、出荷や試験研究が翌期にずれ込んだことや、利益率の高い従来製品や機種追加等に伴う改造、予備品関係の販売促進を行ったことで、利益が当初の見込みを上回りました。加えて、送風機・住設関連事業においても、中国市場を中心に工作機械や産業用ロボット・半導体関連向けの軸流ファンの需要が好調を維持し、浴室照明器具も買換え需要の増加により好調に推移したことで、利益が当初の見込みを上回りました。円安の影響により連結子会社において外貨建債権債務から生じる為替差益を計上したことも利益の押し上げ要因となり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回発表予想を上回る見込みです。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであるため、実際の業績は今後の様々な要因によっては、予想数値と異なる場合があります。

以 上